

令和6年度府中市立府中第三中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する4つの視点
 → 【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ①「全国学力・学習状況調査」において、「話すこと・聞くこと」の正答率が都の平均と比べるとやや低い。
- ②校内での授業アンケートにおいて、家庭学習に毎日取り組んでいる生徒は5割強に留まっている。
- ③「学びに関する力等に関する意識調査」において、“確実にできるようになるまで繰り返す”“難しい問題に対してあきらめず取り組む”に否定的な生徒が約3割いる。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①「全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえ、教員の授業研究に関する教科部会及び校内研修を充実させる。
- ②校内での学校評価アンケートの結果を踏まえ、各教科において補充的な学習サポートに関する取り組みを充実させる。
- ③「学びに関する力等に関する意識調査」の結果を踏まえ、授業内で仲間と考えを共有しあいながら多面的に問題をとらえる機会を充実させる。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

- ①主体的に学習に取り組み、話し合い活動を通して自分の考えを深めたり広げたりする生徒。【表現】
- ②自らの課題を意識しながら家庭で学習する時間を設け、進んで学習できる生徒。【発見・決定】
- ③難しい問題に直面した際に、クラスメイトや先生に自ら質問したり、自分なりに試行錯誤を重ねたりして解決しようとする事ができる生徒。【対話】

(2) 目指す授業像

- ①ICTの活用を含め、生徒自らがまとめた考えを発表できる授業。【対話・表現】
- ②生徒が困っている状況を個々に把握し、それぞれに助言したり、学習課題を提示したりして、基礎学力を定着させる授業。【発見】
- ③他者との交流の中で自分の考えを深める時間を、意図的、計画的に位置づけた授業。【決定】

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	・グループ活動などを通じて他者との考えを共有することで、自分自身の考えを広げたり深めたりし、それを記述または発表する機会を設ける。【対話・表現】	美術	・鑑賞の時間、構想を練る時間、話し合いの視点を明確にしてお互いの考えを交流し、全体に発表する機会を設ける。【対話・表現】 ・仲間の制作方法や問題解決方法に気付き、自分の作品制作に生かせる授業展開の工夫。【発見】
数学	・日常性のある教材を使用して、協働的・探究的な授業を実施する。【対話・表現】 ・数学の学習内容を、生活の中のものに関連付けて考える力を付ける。【発見】	技術	・題材の製作や調べ学習に主体的に取り組む学習を中心とし、各領域のまとめとして話し合い活動を取り入れ、他人の考えを取り入れて学習成果の幅を広げる。【対話・表現】
社会	グループ活動の効果的な実施や学習課題の工夫などを通して、自分の考えをまとめたり、表現したりする活動を充実させることで、思考・判断・表現の力を高められるようにする。【対話・決定・表現】	家庭	・作品づくりにおいて、グループやペア学習を取り入れ、子ども同士で協働したり、意見を共有し、互いの考えを深められる機会を設ける。【対話】 ・日常生活と結び付いた課題を設定し様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えた事を表現するなど、課題を解決する力を養う。【発見・表現】
理科	・生徒が主体的に科学的な課題を見付け、解決しようとする態度を身に付けられるよう、日常生活や他教科との関連や既習事項を意識した授業展開を図る。【対話・表現】 ・結果を科学的に分析し、自分の言葉で表現できるように時間の確保と共有の時間を設ける。【表現】	保健体育	・実技において、自分の動きの特徴を的確にとらえる機会が多い授業展開の工夫。【発見】 ・自分やグループの良さや課題を表現する経験値が積みあがる指導の充実。【対話・表現】
音楽	・人前で自信をもって音楽表現できるように、基本的な演奏技術（呼吸法、発声法）を身につけさせる。 ・生徒が互いに意見を出し合い、パート練習を進める力を育てる。	外国語	・会話練習や、発表など自分の意見や考えを表現する時間を多く設ける。【対話・表現】 ・生徒の理解度や困っている状況を把握し、それぞれに助言したり、更に課題を提示したりして基礎・基本を定着させる。【発見】

令和6年度府中市立府中第三中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

(2) 生徒用タブレット端末の活用【市共通】

- ・生徒が思考するための情報を収集したり、お互いに意見交換したりする場面で活用する。【対話・表現】
- ・板書やワークシートとタブレット学習とを適切に組み合わせながら、理解を深める場面で活用する。【発見】